端末設定とセッションの設定

-
- 端末設定とセッションの概要, on page 1
- コンソール ポートの設定, on page 1
- 仮想端末の設定 , on page 3
- モデム接続の設定 （3 ページ）
- ターミナル セッションのクリア, on page 3
- 端末およびセッション情報の表示 （4 ページ）
- ファイル システム パラメータのデフォルト設定, on page 4
- 端末設定とセッションに関する追加情報, on page 5

端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

コンソール ポートの設定

コンソール ポートに対して次の特性を設定できます。

- データ ビット
- 非アクティブ セッションのタイムアウト
- パリティ
- スピード
- ストップ ビット

Before you begin

コンソール ポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **databits** *bits*
4. **exec-timeout** *minutes*
5. **parity** {**even** | **none** | **odd**}
6. **speed** {**300** | **1200** | **2400** | **4800** | **9600** | **38400** | **57600** | **115200**}
7. **stopbits** {**1** | **2**}
8. **exit**
9. (Optional) **show line console**
10. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose

ステップ 1	**configure terminal**
	Example:
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル構成モードを開始します。

ステップ 2	**line console**
	Example:
	`switch# line console`
	`switch(config-console)#`
		コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 3	**databits** *bits* **Example:** `switch(config-console)# databits 7`	1バイトあたりのデータ ビット数を設定します。指定できる範囲は5～8です。デフォルトは8です。
ステップ 4	**exec-timeout** *minutes* **Example:** `switch(config-console)# exec-timeout 30`	非アクティブ セッションのタイムアウトを設定します。有効値は0～525600分（8760時間）です。0分の値を設定すると、セッション タイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは30分です。
ステップ 5	**parity** {**even**	**none**	**odd**} **Example:** `switch(config-console)# parity even`	パリティを設定します。デフォルトは **none** です。
ステップ 6	**speed** {**300**	**1200**	**2400**	**4800**	**9600**	**38400**	**57600**	**115200**} **Example:** `switch(config-console)# speed 115200`	送信および受信速度を設定します。デフォルトは **115200** です。

	Command or Action	Purpose
ステップ 7	**stopbits** {**1** | **2**} **Example:** `switch(config-console)# stopbits 2`	ストップ ビットを設定します。デフォルトは **1** です。

ステップ 8	**exit**
	Example:
	`switch(config-console)# exit`
	`switch(config)#`
		コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。

ステップ 9	(Optional) **show line console** **Example:** `switch(config)# show line console`	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 10	(Optional) **copy running-config startup-config** **Example:** `switch(config)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

モデム接続の設定

ユーザーはモデムをコンソール ポートに接続できます。

ターミナル セッションのクリア

Cisco NX-OS デバイスのターミナル セッションをクリアできます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **clear line** *name*

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) **show users** **Example:** `switch# show users`	デバイスのユーザ セッションを表示します。
ステップ 2	**clear line** *name* **Example:** `switch# clear line pts/0`	特定の回線のターミナル セッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show terminal	端末設定を表示します。
show line	コンソール ポートの設定を表示します。
show users	仮想ターミナル セッションを表示します。
show running-config [**all**]	実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント設定を表示します。**all** キーワードを指定すると、ユーザ アカウントのデフォルト値が表示されます。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンド リファレンス ガイドを参照してください。

ファイル システム パラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイル システム パラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトのファイル システム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルト ファイルシステム	bootflash:

端末設定とセッションに関する追加情報

ここでは、NX-OS デバイスの端末設定とセッションに関する追加情報について説明します。

端末設定とセッションに関する追加情報

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。